

アクサ世界株式ファンド

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第1期（決算日 2022年4月18日）

作成対象期間（2021年10月29日～2022年4月18日）

第1期末（2022年4月18日）	
基準価額	9,609円
純資産総額	15百万円
第1期 （2021年10月29日～2022年4月18日）	
騰落率	△3.9%
分配金合計	0円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■受益者のみなさまへ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ世界株式ファンド」は、このたび第1期の決算を行いました。

当ファンドは、「投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界の株式に投資することにより」信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

○当ファンドは、投資信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記弊社ホームページの「ファンド情報」、「ファンドの各種資料等」から、当ファンドの「運用報告書（全体版）」を閲覧およびダウンロードすることができます。

○「運用報告書（全体版）」は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

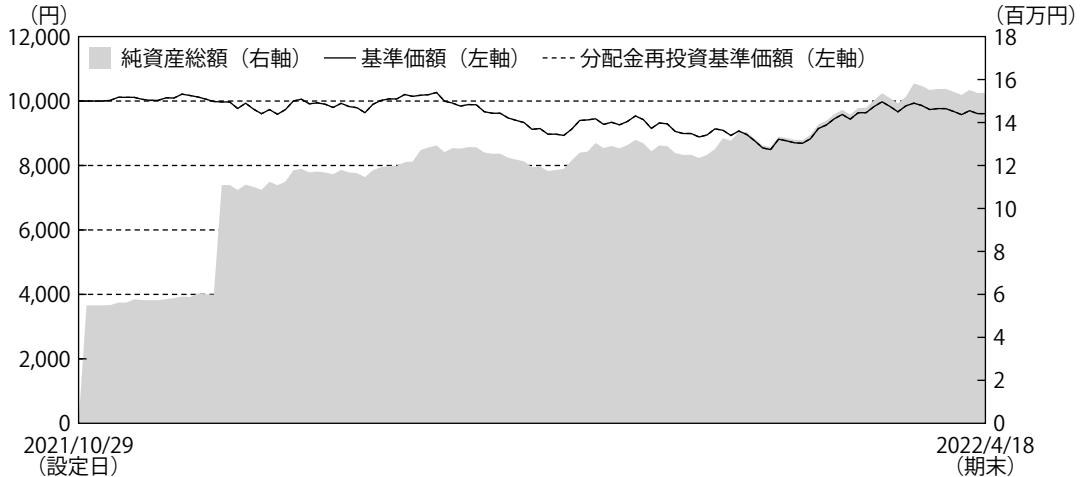
アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

運用経過

■基準価額等の推移について

(2021年10月29日～2022年4月18日)



設定日：10,000円

期 末：9,609円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率：△3.9% (分配金再投資ベース)

■基準価額の主な変動要因

当期は、主として保有している株式の株価が下落したことがマイナスに寄与して、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」および「ポートフォリオについて」をご参照ください。

■ 1万口当たりの費用明細

(2021年10月29日～2022年4月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	38円	0.399%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は9,601円です。
(投 信 会 社)	(30)	(0.311)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(7)	(0.078)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.010)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
そ の 他 費 用	5	0.048	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(5)	(0.047)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	43	0.447	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れている「アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド」が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

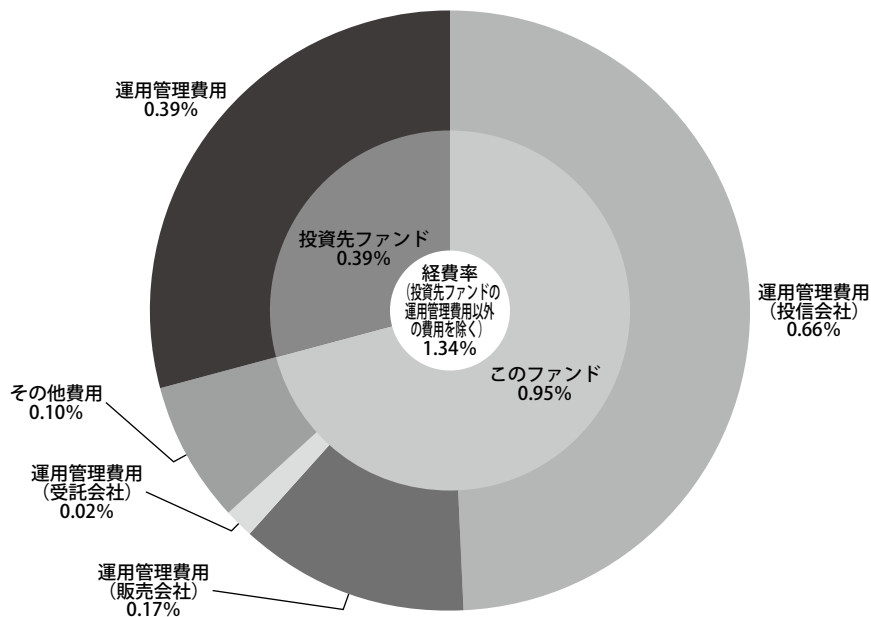
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、ファンドが組み入れている「アクサ・ワールド・ファンド・フラムリントン・エヴォルヴィング・トレンズ（Mシェアクラス）」が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.34%です。

経費率 (①+②)	1.34%
①このファンドの費用の比率	0.95%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.39%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている「アクサ・ワールド・ファンド・フラムリントン・エヴォルヴィング・トレンドズ (Mシェアクラス)」です。

(注5) ①の費用は、「アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド」が支払った費用を含み、「アクサ・ワールド・ファンド・フラムリントン・エヴォルヴィング・トレンドズ (Mシェアクラス)」が支払った費用を含みません。

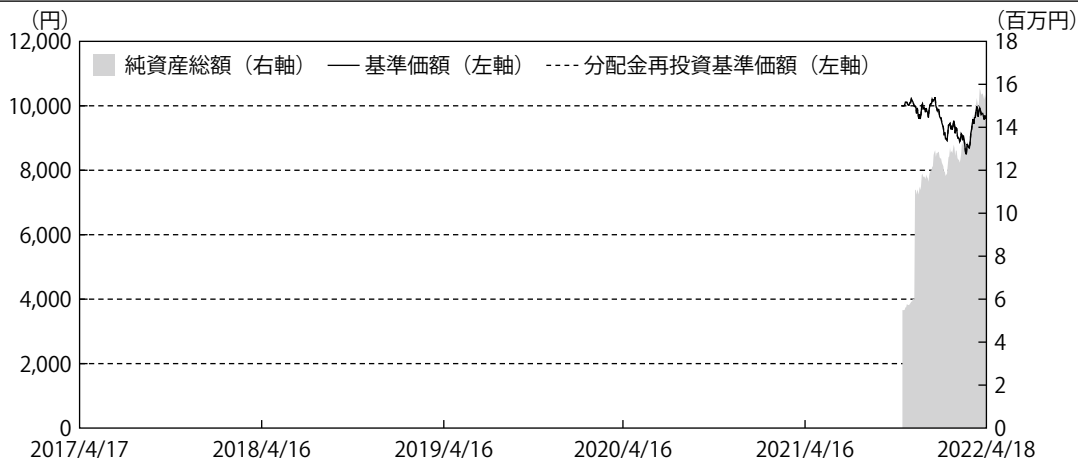
(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注8) 「アクサ・ワールド・ファンド・フラムリントン・エヴォルヴィング・トレンドズ (Mシェアクラス)」には運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

■最近5年間の基準価額等の推移について

(2017年4月17日～2022年4月18日)



決算日		2021年10月29日 設定日	2022年4月18日 決算日
基準価額	(円)	10,000	9,609
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	△3.9
純資産総額	(百万円)	5	15

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■投資環境について

当期のグローバル株式市場は、下落しました。期の前半は、2021年11月に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の新たな変異株「オミクロン」に対する懸念が、重症化率が低いことを示すデータによりある程度緩和されたことや、企業収益が2022年にさらなる増加を見込めるという期待感が支援材料となり年末にかけて株式市場は上昇しました。一方で、米連邦準備理事会（FRB）のパウエル議長は堅調な経済活動、失業率の低下、インフレ率の上昇を背景にテーパリング（資産買い入れの段階的縮小）を加速させる計画を発表し、これにより2022年の利上げ回数が増える可能性が高まりました。

ほとんどの主要国でインフレ率上昇が観測されたため、2022年年明け以降、各国中央銀行は物価上昇は一過性であるという見方から、タカ派方向へ転換していきました。これを受けて、特に米国で金利上昇の予測が強まり、投資家が長期的な成長見込みで買われていた企業の価値を見直す中で市場でグロース株からバリュース株への大幅なシフトが見られました。期の後半の2月には、ロシアのウクライナ侵攻により金利上昇への懸念はさらに高まりました。世界各国が経済制裁を科したことにより、ロシアの資産は急減し、エネルギー価格は数年ぶりの水準まで高騰したことが背景にあります。

セクター別に見ると、エネルギーおよび素材関連企業が市場をアウトパフォームし、生活必需品、ヘルスケア、不動産などのディフェンシブ・セクターが続きました。一方で、コミュニケーション・サービス、一般消費財・サービス、情報技術などの高成長セクターは下落しました。

地域別では、エネルギーおよび鉱業への高いエクスポージャーを持つ英国がアウトパフォームした一方、米国は若干の下落、欧州および新興国株式市場は大幅に下落しました。

■当該投資信託のポートフォリオについて

○当ファンド

当期を通じて、主要投資対象ファンドである外国投資信託証券「アクサ・ワールド・ファンド・フラムリントン・エヴォルヴィング・トレイズ（Mシェアクラス）」を高位に、国内籍投資信託「アクサローゼンバーク・日本円マネー・プール・マザー・ファンド」を低位に組入れた運用を行ないました。各投資対象ファンドにおける運用経過は以下のとおりです。

○アクサ・ワールド・ファンド・フラムリントン・エヴォルヴィング・トレイズ（Mシェアクラス）

当ファンドの5つの長期的成長分野である「高齢化とライフスタイル分野」、「コネクテッド・コンシューマー分野」、「自動化分野」、「クリーンテック分野」、「移行する社会分野」に着目して運用を行いました。

当ファンドの当期のパフォーマンスは、MSCIオール・カントリー・ワールド指数に代表されるグローバル株式市場全体のパフォーマンスを下回りました。「コネクテッド・コンシューマー分野」、「移行する社会分野」、「自動化分野」における保有銘柄がパフォーマンスに最も大きくマイナス寄与となりました。一方、「クリーンテック分野」の保有銘柄は小幅ながらプラス寄与、「高齢化とライフスタイル分野」の保有銘柄はほぼ横ばいとなりました。セクター別では、情報技術やヘルスケア・セクターの銘柄選択がマイナス寄与となりました。また、当ファンドの投資対象となる銘柄が少ないため、パフォーマンスの良かったエネルギーや素材セクターへの配分が少なかったこともマイナス寄与となりました。

○アクサ ローゼンバーク・日本円マネー・プール・マザー・ファンド

国債、地方債、機構債をはじめ、高格付の事業債、サムライ債をバランスよく保有しております。平均残存年限は10か月となっております。

■ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の基本方針または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

■分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

	第1期
	2021年10月29日～2022年4月18日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

(注1) 「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針について

○当ファンド

引き続き、主要投資対象ファンドである外国投資信託証券「アクサ・ワールド・ファンド・フラムリントン・エヴォルヴィング・トレンドズ (Mシェアクラス)」を高位に、国内籍投資信託「アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド」を低位に組み入れた運用を行なう方針です。各投資対象ファンドにおける今後の運用方針は以下のとおりです。

○アクサ・ワールド・ファンド・フラムリントン・エヴォルヴィング・トレンドズ (Mシェアクラス)

ロシアによるウクライナ侵攻によって、エネルギー価格の上昇およびサプライチェーンのさらなる混乱がもたらされ、膨大な経済的コストを引き起こしています。他方で主要中央銀行はインフレ抑止を図り、長期化が予想される利上げおよび量的引き締め局面に入りつつあります。当社では2022年の世界の経済成長は鈍化すると見込んでいますが、進化する経済を下支えする成長トレンドは引き続き加速すると考えています。

質の高い経営陣によって、各々の分野において持続可能な競争優位性を持ち、長期的な追い風の恩恵を受けて事業が運営されている企業こそが、変化する社会の荒波の中を進んでいけると考えています。当ファンドでは今世界で起こっている構造的な変化から生まれてくる成長機会を捉え投資を行うことで信託財産の成長を目指してまいります。

○アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド

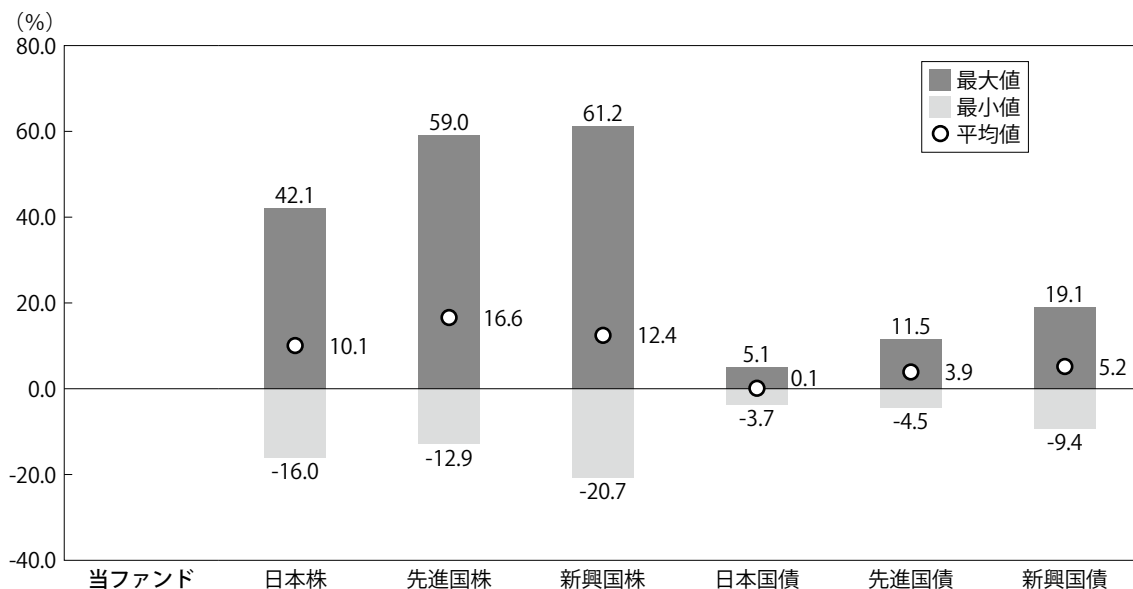
運用利回りを向上させるため、安全性に最大限の配慮をしながら、高格付けの社債組入比率を引き上げ、国債、機構債、地方債比率を減少させる予定です。ファンドの平均残存年限については、日本銀行の政策変更の可能性について注視しながら柔軟に対応していく予定です。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限とします。	
運用方針	主として国内外の投資信託証券（以下「投資対象ファンド」ということがあります。）への投資を通じて、世界の市場株式にアクティブに投資することで、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	以下の投資信託証券を主要投資対象とします。
	投資対象ファンド	アクサ・ワールド・ファンド・フラムリントン・エヴォルヴィング・トレンド（Mシェアクラス）
		日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
		アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド 円建ての公社債を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	主として国内外の投資対象ファンドへの投資を通じて、世界の市場株式にアクティブに投資することで、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
	投資対象ファンド	アクサ・ワールド・ファンド・フラムリントン・エヴォルヴィング・トレンド（Mシェアクラス）
		●主として、世界の市場株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ●市場動向によっては、非市場株式および債券等に投資を行う場合があります。
		アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド
		●本邦通貨表示の公社債等に投資を行い、利息等収入の確保を目指して運用を行います。 ●日本円無担保コールオーバーナイト物レートにより日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものをベンチマークとし、これを中・長期的に上回る運用成果を目指します。
組入制限	1 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 2 株式への直接投資は、行いません。 3 外貨建資産への直接投資は、原則として行いません。	
分配方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の金額とします。 ② 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ③ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2017年4月～2022年3月)



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値		42.1	59.0	61.2	5.1	11.5	19.1
平均値		10.1	16.6	12.4	0.1	3.9	5.2
最小値		△16.0	△12.9	△20.7	△3.7	△4.5	△9.4

*上記のグラフは、2017年4月から2022年3月の5年間の各月末における1年騰落率の平均・最大・最小を、代表的な資産クラスについて表示したものです。

*上記の騰落率は2022年3月末から60ヶ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

*当ファンドは設定日が2021年10月29日であることから、年間騰落率が算出できないため、空欄になっています。

○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ指数 (税引後配当込み、円建て)

新興国株・・・S & P 新興国総合指数 (税引後配当込み、円換算)

日本国債・・・ブルームバーグ日本総合指数

先進国債・・・ブルームバーグ・グローバル国債 (日本を除く) トータル・リターン指数 (円建て)

新興国債・・・JPモルガン EMBI グローバル・ディバースファイド指数 (円換算)

(海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、円で表示しています。ドルベースの指数については、委託会社が円換算しております。)

ファンドデータ

■当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド等

(組入銘柄数：2銘柄)

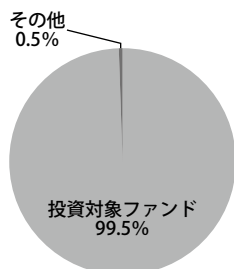
フ ア ン ド 名	第1期末
	2022年4月18日
アクサ・ワールド・ファンド・フラムリントン・エヴォルヴィング・トレイズ (Mシェアクラス)	99.4%
アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド	0.1
その他	0.5

(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

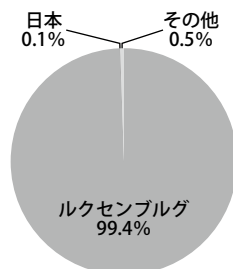
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

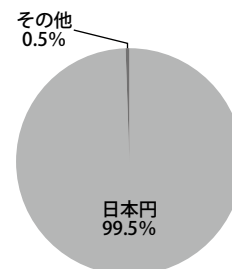
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

■純資産等

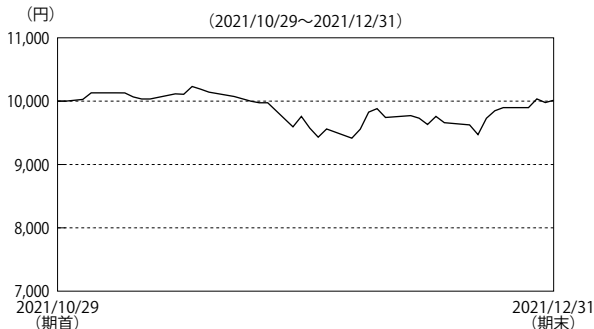
項 目	第1期末
	2022年4月18日
純 資 産 総 額	15,378,885円
受 益 権 総 口 数	16,004,637口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	9,609円

※当期における追加設定元本額は10,630,234円、解約元本額は115,597円です。

■組入上位ファンドの概要

アクサ・ワールド・ファンド・フラムリントン・エヴォルヴィング・トレンドズ（Mシェアクラス）

【基準価額の推移】



— 基準価額（左軸）

【1万口当たりの費用明細】

1万口当たりの費用明細の取得が困難なため、表示しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2021年12月31日現在)

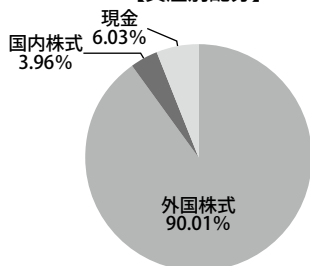
(組入銘柄数：54銘柄)

	銘柄名	通貨	比率
1	Alphabet Inc.	米ドル	4.40%
2	QUALCOMM Incorporated	米ドル	2.79%
3	TE Connectivity Ltd.	米ドル	2.61%
4	ServiceNow, Inc.	米ドル	2.53%
5	Waste Connections, Inc.	米ドル	2.50%
6	Amazon.com, Inc.	米ドル	2.43%
7	Microsoft Corporation	米ドル	2.39%
8	UnitedHealth Group Incorporated	米ドル	2.35%
9	NextEra Energy, Inc.	米ドル	2.34%
10	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.	台湾ドル	2.32%

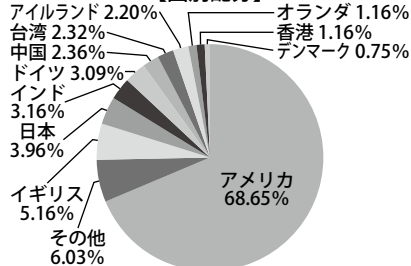
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

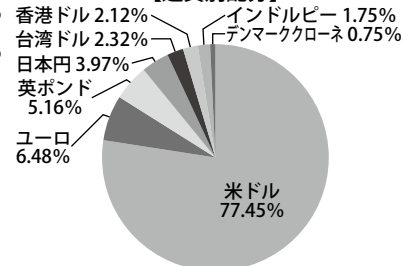
【資産別配分】



【国別配分】



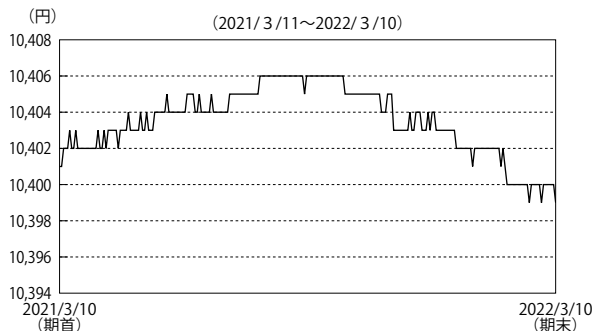
【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド

【基準価額の推移】



— 基準価額 (左軸)

【1万口当たりの費用明細】

(2021年3月11日~2022年3月10日)

	金額	比率
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、10,404円です。

- (注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

【組入上位10銘柄】

(2022年3月10日現在)

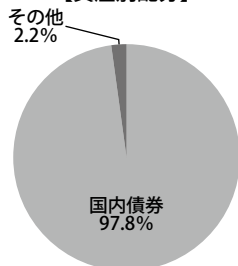
(組入銘柄数：15銘柄)

	銘柄名	通貨	比率
1	425 2年国債	日本・円	22.7%
2	21 東日本旅客鉄道	日本・円	7.6%
3	102 道路機構	日本・円	7.6%
4	2 エイチエスビーシーHD	日本・円	7.6%
5	1 サンタンデール	日本・円	7.6%
6	416 2年国債	日本・円	7.6%
7	1 クレディ・アグリコル	日本・円	7.6%
8	14 政保政策投資C	日本・円	7.6%
9	1 BPCE S.A.	日本・円	7.6%
10	41 地方公共団体	日本・円	3.8%

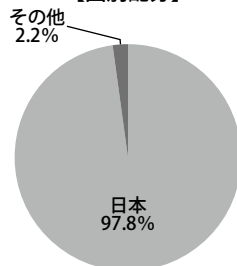
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

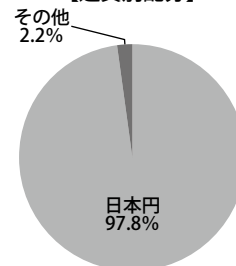
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

●指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・東証株価指数（TOPIX）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又はJPX総研のグループ会社（以下「JPX」といいます。）が所有しています。JPXは、同指数の指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。JPXは同指数の算出もしくは公表方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止または同指数の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- ・MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した指数で、MSCI Inc. の知的財産であり、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。MSCIでは、掛かるデータに基づく投資による損失に一切責任は負いません。
- ・S & P新興国総合指数（税引き後配当込み）：S & P新興国総合指数（税引後配当込み）は、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスが公表している株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてS & Pダウ・ジョーンズ・インデックスに帰属します。
- ・ブルームバーグ日本総合指数は、Bloomberg社が公表している指数で、日本の債券で構成される債券指数です。
- ・ブルームバーグ・グローバル国債（日本を除く）トータル・リターン指数は、Bloomberg社が公表している指数で、日本を除く世界主要国の国債で構成される債券指数です。「Bloomberg®」およびブルームバーグ日本総合指数とブルームバーグ・グローバル国債（日本を除く）トータル・リターン指数は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社（以下、当社）による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグは当社とは提携しておらず、また、アクサ世界株式ファンド（以下、当ファンド）を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、当ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。
- ・JPモルガンEMBIグローバル・ディバーシファイド指数は、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国の債券で構成される指数です。同指数の著作権およびその他知的財産権はすべてはJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

上記指数の円換算ベースは当社が独自に算出したものを採用しています。